

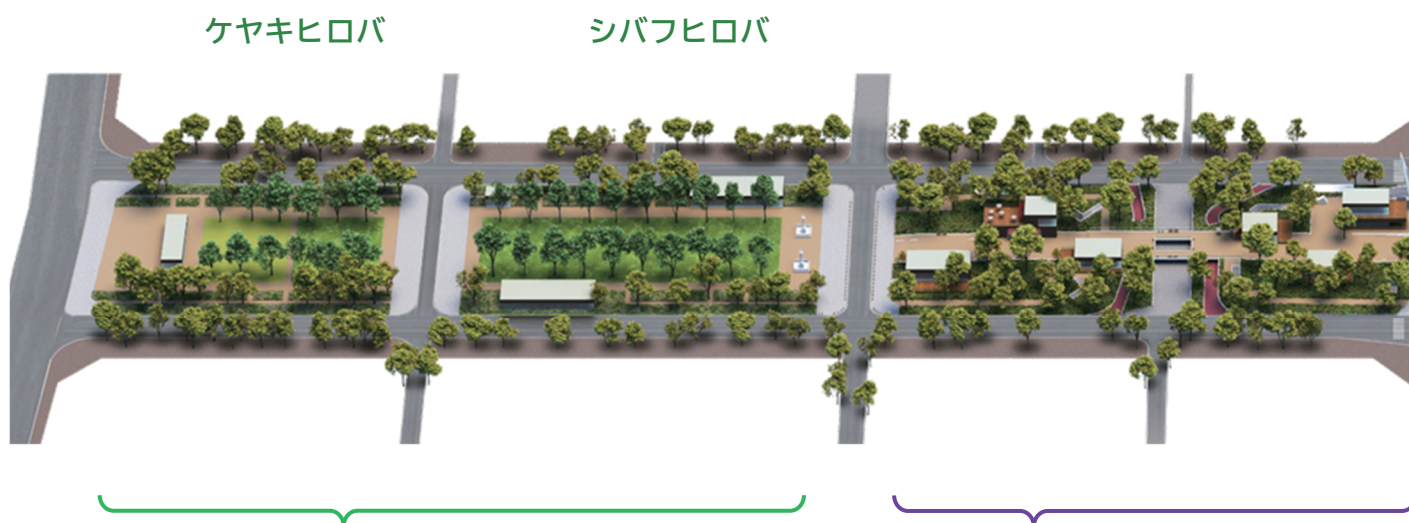
3 北エリア・テレビ塔エリアの状況

久屋大通公園（北エリア・テレビ塔エリア）（Hisaya-odori Park）は、「栄地区グランドビジョン」におけるエリア別空間イメージに基づき、都会の安らぎ空間および観光・交流空間として、公園区域内を以下のように再整備し、全国のタワーとして初の国の重要文化財に指定された中部電力 MIRAI TOWER とともに、発信性と日常性を併せ持つ名古屋の新しいシンボルとして多くの来訪者を迎えています。中でも、近郊からの来訪者が比較的多い傾向※にあります。

※名古屋市内 44%、愛知県内（名古屋市を除く）28%、県外 28%（2024.1 アンケート結果より）

北エリア【都会の安らぎ空間】

四季折々の自然を満喫できるエリアとして、くつろぎや憩いを感じられるだけでなく、マーケットの開催やライトアップの演出などにより日常的なにぎわいが生まれる多彩な空間



ZONE1 学びの森ゾーン



人通りの少なかった並木道が、
多くの方が利用する芝生広場に

ZONE2 アーバンリゾートの森ゾーン



段差が多かった庭園が、
そぞろ歩きや飲食が楽しめる場所に

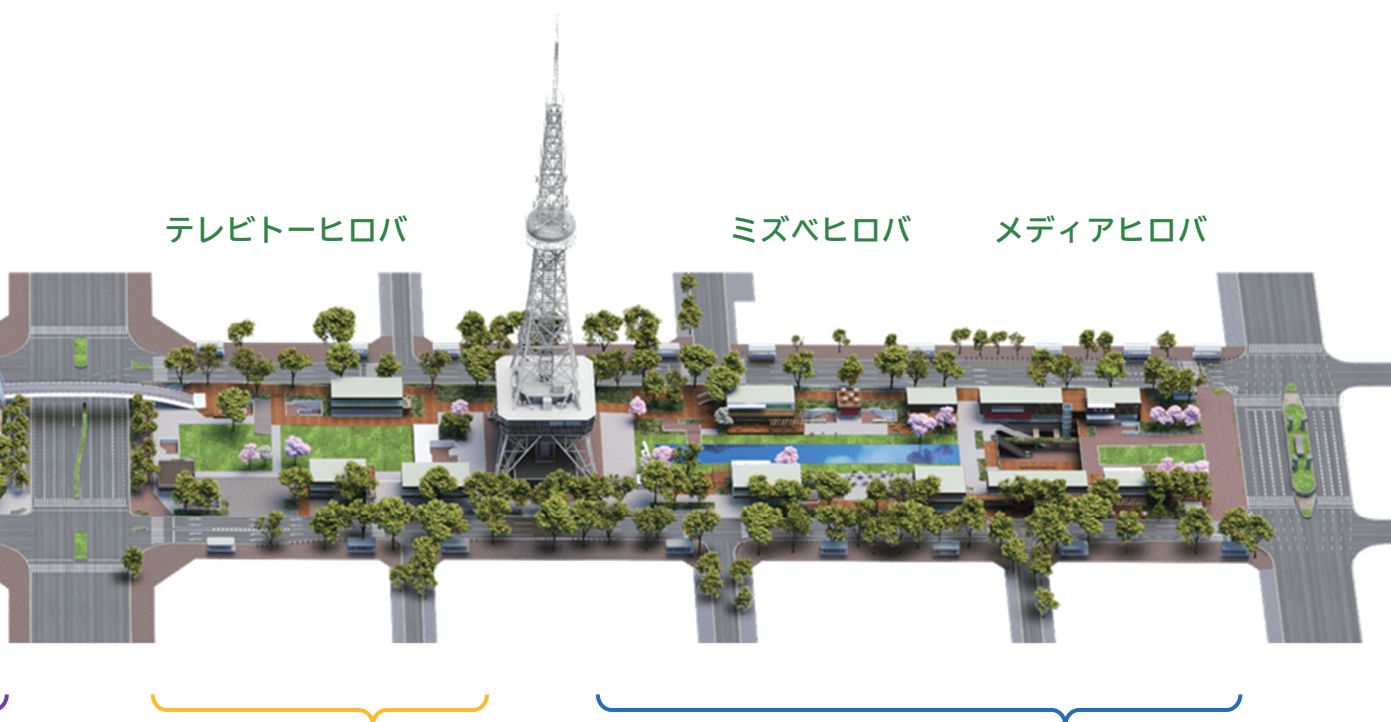


久屋大通公園（北エリア・テレビ塔エリア）の主な整備内容

- ①中部電力 MIRAI TOWER を中心としたビスタラインを中央に形成し、その両側に飲食や物販などの店舗を配置
- ②健全な樹木環境の整備
- ③合計約 1 万㎡以上におよぶ5つの広場の配置
- ④スムーズにアクセスできるバリアフリー動線の確保

テレビ塔エリア【観光・交流空間】

名古屋の文化発信力の要となるエリアとして、国内外からの来園を促進する発信性の高さと、気軽に人と集まったり、くつろいだりできる日常性の高さを併せ持つ空間



ZONE3 コミュニケーションゾーン



駐車場施設を縮小し、
イベントにも活用できる広場に

ZONE4 シンボルゾーン



樹木で埋もれていた中部電力 MIRAI TOWER
周辺が、水盤によってシンボリックな空間に